

植物(つながり種)												
種名	識別上の特徴		生物の生息・生育環境							季節性		
			樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋
1.スギナ	形	胞子を飛ばすため春に出てくる姿(胞子茎)は「ツクシ」と呼ばれ、食べられる。	●							●		
2.ハクモクレン (植栽種)	形	白い花が半開き状に上向きに咲く							●	●		
3.コブシ (植栽種)	形	春に葉のない木に白く大きな花が咲く。								●		
4.ヒガンバナ(植栽種)	色	9月中旬に赤い花びらが長い花の咲かせる。 田畠に多く、秋に赤色の花が咲く。花が枯れたあとに葉が出てくる。	●			●		●			●	
5.ツルボ	形	秋に薄いピンクの小さい花を穂状に咲かせる	●							●	●	
6.チガヤ	形	穂は細長く直立し、最初は濃赤で、のちに穂が開いて白色になる。 草地でよく見られる種。初夏にしづぽのような白い穂をつける。	●			●				●		
7.オギ	形	ススキに似ており、間違われることも多い。ススキと比べて株にならず、ある程度の間隔を保つて広がる。			●	●					●	
8.ナンテン (植栽種)	形	葉は丸みがあり、先がとがる。冬に赤い実がたくさんつく。							●			●
9.ムクノキ	形	葉はギザギザで、触ると紙やすりのようにざらざらする。公園などでもよくみ見られる。秋になると黒紫色に熟す実は甘味がある。	●		●				●		●	
10.エノキ	形	葉の形が左右非対称。昔から「縁の木」とされ、日本各地の神社で御神木としても大切にされてきた。	●		●				●		●	
11.ユキヤナギ (植栽種)	形	白色の花の塊が垂れ下がって咲く。 公園に多く、春には垂れ下がった枝に白い花がたくさん咲く。							●	●		
12.アラカシ	形	葉はギザギザで光沢があり、帽子に横じま模様があるドングリが成る。 木材にすると白いのが名前の由来。	●						●		●	
13.ヤマモモ (植栽種)	形	葉は丸みがあり、先がとがる。公園などにも植えられる。夏にできる赤い実は食べることができ、甘酸っぱい。	●						●		●	
14.カタバミ	形	黄色く先の丸い5枚の花弁とクローバーのような葉が特徴。実は小さなオクラのような形のものが上に向かってつく。	●	●			●		●	●	●	
15.スミレ	色	濃い紫色まれに白色の花をつける。葉は細長い橢円形で葉柄に翼がある。		●			●		●	●		
16.ナズナ	形	茎の先に集まるように白い小さい花を咲かせる。ハート型に近い逆三角形の実を茎から飛び出したようにつける		●			●			●		
17.キンモクセイ (植栽種)	香	庭などにも多く、秋に咲く小さなオレンジ色の花は強い香りがして、離れていても匂いがする。									●	
18.ホトケノザ	色	茎の周りを囲む台座のような葉と横から見ると馬の頭のように見える紫-ピンク色の花が特徴。日当たりのいい場所では一面に広がることもある。		●			●			●		

植物(つながり種)													
	種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性			
			樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬
19	ムラサキサギゴケ	形 紫色の花。唇型の花で、上側の花弁は小さく、下側の花弁は大きく広がっている。下側の花弁の中心に黄色の斑点がある。		●			●			●			
20	ハハコグサ	形 全体的に毛が多く、茎や葉が白っぽく見える。先端の花の部分は黄色。		●			●			●			
21	ノゲシ	形 タンポポのような花が咲き、葉がギザギザ。	●			●			●				●
22	カンサイタンポポ	色 花は黄色。花のがくのような部分(総苞片)が、反り返らない。	●							●			
23	セリ	形 小さな白い花が塊になって咲く。葉はギザギザで独特の香りがある。			●	●					●		●

昆虫類(つながり種)

種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
		樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
21 イチモンジセセリ	色 三角形で茶色の翅に、一直線に並ぶ銀紋が特徴		●					●					●
22 ヤマトシジミ本土亜種	色 淡い灰色の翅に、黒点が並ぶ(類似種がある)		●					●					●
23 コムラサキ	色 翅の表面の色彩が、紫色と橙色の対比で印象的。	●											●
24 ゴマダラチョウ本土亜種	色 黒色の翅に、白紋が並ぶ色彩が印象的な大型種。 大きさ70mmほど。樹液によくやってくる。幼虫は落ち葉の中で冬を越す。	●											●
25 コミスジ本州以南亜種	色 黒色の翅に、白紋が列状に並ぶ色彩が印象的な	●											●
26 アオスジアゲハ	色 濃茶褐色の翅に、鮮やかで太い青緑色の筋が入る。大型種。 大きさ30-45mm。樹木や花の周りを飛び回る。	●						●					
27 ツマキチョウ本土亜種	色 白色の前翅の先端が鮮やかな黄橙色で印象的な種。後翅の裏面は雲紋が目立つ。 大きさ20-30mm。春にだけ現れる。尖った羽先が黄色いとオス。		●						●				
28 コクワガタ	形 あごの前半部に、大きな歯が目立つ。体長20-58mm。平地の公園から山林まで様々な環境でみられる。	●											●
29 シロテンハナムグリ	色 金属光沢のある濃褐色の体に、白色の斑点が入る(類似種がある)	●	●										●
30 カブトムシ	形 オスの角が特徴的。体長30-85mm。幼虫は腐葉土の中に生息する。樹林環境を代表する種。	●								●			
31 タマムシ	色 体長30-40mm。夏の暑い時間に活動する。玉虫色(金属光沢のある緑と赤)の体色が鮮やか。	●											●
32 ヒメボタル	色 夜間に発光する。大きさ6-9mm。陸生のホタルで、幼虫は陸貝類を食べる。			●					●				
33 セグロアシナガバチ本土亜種	色 黒と橙黄色の混じる斑紋が目立つ。後脚を垂らして飛ぶ。								●	●			
34 キムネクマバチ	色 黒色の体色に、黄色の胸部が目立つ。 大きさ20-25mm。枯れ枝や材木などに穴をあけて巣を作る。								●	●			●

鳥類(つながり種)

種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
		樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
1 マガモ	2 色	オスの灰色を基調とした色彩に、光沢のある緑色の頭部が特徴的。 大きさ50-65cm。ふゆ冬にわた渡って来る。 オスの頭は緑色でメスは全体が茶色。		●	●							●	
2 カルガモ	3 色	地味な色彩だが、先端だけが黄色で目立つ嘴が特徴的。		●	●								●
3 ホシハジロ	4 色	オスの体色は、黒色、灰色、赤褐色の対比が特徴的。 大きさ40cmほど。冬になると渡ってくる。水中に潜って水草を食べる。		●			●					●	
4 コチドリ	5 形	目の周りの黄色い縁取りが目立つ(類似種あり)		(砂礫原)						●			
5 ユリカモメ	6 色	赤い嘴が特徴的。 冬場に河口周辺で見られる種。大きさ40cmほどで、昼間は池や川にも現れる。		●								●	
6 カワセミ	7 色	光沢のある青色の体色が美しい。 水辺環境を代表する種。大きさ17cmほど。 鮮やかな青の体色が美しい。		●	●								●
7 コゲラ	8 色	背面は黒色に白色斑紋があり、対比が鮮やかな色彩。 大きさ15cm。樹林環境を代表する種。日本で一番身近で、一番小さなキツツキ。	●										●
8 シジュウカラ	9 色	頭部が黒色で耳の周りが白く、背面の緑色と青灰色の対比が特徴的。喉から胸にかけて、太い黒色帯が目立つ。 大きさ14cm。「ツーピツーピ」など20種類ほどある鳴き声を使い分けている。	●										●
9 ツバメ	10 形	翼が鎌形の飛翔系で、尾羽が左右2方向に分かれた「燕尾形」をしている。 大きさ17cm。春に日本へやってきて、家の軒下など、人の近くで子育てをする。	●	●		●		●	●	●			
10 メジロ	11 色	いわゆるウグイス色の緑色に、目の周りの白色環が目立つ。樹林環境を代表する種。大きさ11cmほど。	●										●
11 オオヨシキリ	12 鳴声	逆立つ冠羽が特徴的。鳴くと口の中の橙色が目立つ。 大きさ17-19cm。ヨシ原を代表する種。夏に「ギヨシギヨシ」と鋭く鳴く。		●						●			
12 イソヒヨドリ	13 色	青色と赤色の色彩対比が鮮やか。 大きさ23cmほど。メスは灰色のまだら模様、オスは青と赤で鮮やか。							●				
13 ハクセキレイ		体色に白味が多く、遠くからでもよく目立つ。 大きさ20cmほど。水辺環境を代表する種。えさを探しながら速足で歩く。		●									●

魚類(つながり種)

種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
		樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
1 ニホンウナギ	形 体が細長く、体がぬめる。 川と海を行き来する種。乱獲や河川の整備の影響などで数が減っている。			●			●						●
2 ドジョウ	形 体が細長く、口の周りにひげがある。 水辺環境を代表する種。大きさ20cmほど。口のまわりのヒゲは全部で10本ある。			●	●	●							●
3 ナマズ	形 体が太い。口の周りにひげがある。 水辺環境を代表する種。大きさ60cmほど。 ひげは成長すると6本から4本になる。			●	●	●	●						●
4 アユ	色 サケのような顔つきで、体系は流線型。 大きさ10-30cm。春から夏にかけて川を遡る姿がみられる。			●						●	●		
5 ボラ	形 体を上から見ると頭部が幅広でエラから尾に向かって細くなっていく。 河口・海環境を代表する種。大きさ50cmほど。 大群になり川を遡ることがある。			●			●		●				
6 ミナミメダカ	形 小型で目が大きい(類似種がある)。 大きさ40mm。川のほかに水田や周辺の農業用水路にも生息している。			●	●	●							●
7 スズキ	形 大型で、ヒレにトゲが目立つ。 河口・海環境を代表する種。大きさ20-60cm。 大きさで呼名が変わる出世魚。			●			●						●
8 クロダイ	色 体色が銀色で、淡い横縞が目立つ場合がある。							●		●			

両生類(つながり種)

種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
		樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
1 ニホンアマガエル	鳴声	目の前後に黒帯がある。大きさ20-45mm。緑や灰色など、環境の色に合わせ体の色を変化させる。			●	●				●			
2 ヌマガエル	色	土色の体色で、腹面が白色。大きさ30-50mm。腹側は白い。水田を代表する種だが、畑や草原などにもいる。				●				●			

爬虫類(つながり種)

種名	識別上の特徴	生物の生息・生育環境							季節性				
		樹林	草地	河川	水辺 ・ 水際	田畠 ・ 水路	海・運河	住宅地 ・ 街路	春	夏	秋	冬	なし
1 ニホンイシガメ	形 甲羅(背中)の稜が1本。体長14-20cm。水辺環境を代表する種。環境破壊などにより減少している。			●	●					●			
2 ニホンヤモリ	形 トカゲ形で、吸盤が目立つ。体長10-14cm。夜行性で、灯りに集まる虫を食べにくることもある。	●								●			
3 ニホンカナヘビ	形 トカゲ型で、全身が茶色で、光沢がない。大きさ18-25cm。晴れた日は石や枝の上で日向ぼっこをする姿が見られる。	●	●							●			
4 アブラコウモリ	形 夜に空を飛んでいる姿を見ることができる。コウモリには複数の種類があるが、尼崎市内で見られる種はほぼ本種とみなせる。					●		●					●

